

第3次船橋市文化振興基本方針 の方向性について

第3次船橋市文化振興基本方針策定スケジュール 2

令和7年度	6月18日	第1回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次船橋市文化振興基本方針について ・アンケート調査設問項目について
	7月		アンケート調査実施
	11月頃	第2回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果の報告 ・課題分析 ・方向性について協議
	1月頃	第3回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子案について協議
令和8年度	6月頃	第4回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・素案について協議
	9月頃	第5回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・原案について協議 ・パブリック・コメント実施について説明
	12月～1月		パブリック・コメント実施
	1月頃	第6回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリック・コメントの結果報告 ・パブリック・コメントの回答案について協議
	2月～3月		第3次方針策定の報告

第3次船橋市文化振興基本方針の骨子案

3

第1章 策定の経緯

- ＊ 文化芸術を取り巻く社会情勢
 - グローバル化・デジタル化・多様化の進行
 - 文化芸術は経済や観光の源泉であり社会基盤
- ＊ 国の動向と制度的背景
 - 文化芸術基本法・文化芸術推進基本計画(第2期)
 - 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律・
障害者による文化芸術活動推進基本計画(第2期)
- ＊ 第3次船橋市文化振興基本方針の位置づけ
 - 総合計画
 - 教育大綱・船橋の教育2020・一番星プラン

第3次船橋市文化振興基本方針の骨子案

4

第2章 船橋市の文化的特徴

* 地域資源

- 文化芸術活動率(特に「歌唱」「音楽」)が39.1%と全国の結果を大幅に上回る。
- 小中学校の合唱部や器楽部が全国的なコンクールで活躍しており、学校での音楽活動が盛ん。
- 多くの文化財や約200か所の遺跡
- 県内2番目の公民館数
- 約650点の美術作品を所蔵

第3次船橋市文化振興基本方針の骨子案

5

第2章 船橋市の文化的特徴

* 第2次船橋市文化振興基本方針の成果と課題

【成果】

- 3つの重点プログラム、①アートでつながるまち ふなばし、
②『ふるさと船橋』を知る、③2つのプログラムの複合的な施
策展開、を実施。

【課題】

- 総合指標の結果が減少傾向
令和3年度40.3% → 令和6年度38.6%

第3次船橋市文化振興基本方針の骨子案

6

第3章 基本方針

- * めざすべき姿
- * ○つの基本方針

第4章 文化振興の推進体制

- * 総合指標
- * 推進体制

キーワードに関するご意見

7

以下の観点でご意見をお願いいたします。

✿ 良い点

- 特に有効と感じるワードと、その要素

✿ 改善点

- 提示したワードでは表現の曖昧さや実現可能性に課題がある。

✿ 追加すべきキーワード

- 他に取り入れると価値が高まる概念や具体的テーマがあればご提案ください。

めざすべき姿のキーワード

【第1次方針のめざすべき姿】

市民が『ふるさと船橋』に愛着を抱いている状態

【第2次方針のめざすべき姿】

市民が文化・芸術に触れ、「ふるさと船橋」に親しみを感じる状態

【第3次方針めざすべき姿のキーワード】

- ✿ 誰もが文化芸術に触れる・享受する・参加できる
- ✿ 心の豊かさ・創造性
- ✿ 誇り・シビックプライド
- ✿ 多様性(ダイバーシティ)・包摂・共生・つながり・絆・結びつき・連携・価値観の多様化
- ✿ 調和・循環
- ✿ 地域資源・地域社会・未来・地域創造・まちづくり

第3次船橋市文化振興基本方針のキーワード

- ✿ 環境づくり・機会の創出[P139●2つ目及びP140●1つ目]
 - ▶ 誰もが文化芸術に触れることができる環境づくり
- ✿ 情報発信[P139●3つ目]
 - ▶ 広報機能の強化
- ✿ 育成・支援[P141●1つ目]
 - ▶ 人的資源を活用した持続可能な文化芸術活動を推進
- ✿ 他分野との連携[P140●3つ目]
 - ▶ 波及効果により各分野に新たな価値を生み出す相乗効果
- ✿ 地域づくり[P140●3つ目及びP141●1つ目]
 - ▶ 文化芸術を、経済の好循環・地域課題の解決・交流促進、に活用
- ✿ 地域資源の活用

市所蔵作品活用事業費

美術振興事業アドバイザー

- ・美術振興施策については、第3次方針でも引き続き、掲げていく予定であるものの、船橋市には美術館がないことから、美術館がない自治体においても積極的な美術振興を行っていくためには、様々な美術振興に携わっている外部の有識者たちより助言等をいただく必要があると考える。
- ・そのうえで、本策定委員会の分科会のような形をとり、美術振興に特化した意見をいただく会議体の設置を検討
- ・会合であがってきた美術振興策について、今後の策定の一意見として計画に反映することを検討している。